

報道発表資料

北九州市文化大使の  
横内謙介さんが演出！

## 演劇作品『ほおずきの家』 市内中学生を「ゲネプロに無料招待」します！

東京で活動する劇団 HOTSKY による、2023 年 1 月に東京で上演し好評を博した演劇作品『ほおずきの家』（市共催）が北九州で上演されます。

北九州市をモデルとした港町を舞台としており、北九州市文化大使である横内謙介さんが演出を手掛ける全編北九州弁の作品です。

公演に先立ち、次世代の若者の表現力育成のため、市内中学生をゲネプロ（本番と同じ条件で行う通しリハーサル）に無料招待します。本格的な「舞台づくりの現場」を観ることのできる貴重な機会です。

報道関係者各位におかれましては、是非取材の上報道いただきますようお願い申し上げます。

### 記

- 1 日 時 令和7年3月22日（土）13:00～15:00
- 2 場 所 J:COM 北九州芸術劇場 中劇場（小倉北区室町1丁目1-1-11）
- 3 対 象 者 市内中学生（事前申込が必要）

### 『ほおずきの家』

◆脚本：釘本 光 ◆演出：横内 謙介

◆在日コリアンなど、出自の違いによって辛い思いをさせられた人々がいた歴史をふまえて、それでも今、その違いごと認め合って繋がって生きていくことはできないかと模索する人々の姿を描いた作品。北九州市をモデルとした港町が舞台。全編北九州弁。※本番は有料

《北九州公演情報》

日時：令和7年 ①3月22日(土)18:30～ ②3月23日(日)13:30～

場所：J:COM 北九州芸術劇場 中劇場

料金：一般 4500円／ペア 8000円／学生 2500円（学生証の提示が必要）



### 横内謙介（よこうちけんすけ）氏（北九州市文化大使）



- ◆劇作家・演出家・扉座主宰。
- ◆小学5年生から中学1年生までを小倉で過ごす。
- ◆劇団公演のみならず、トニセン（V6）の舞台や、スーパー歌舞伎等、外部に幅広く作品を提供。
- ◆主な作品：「患者には見えないラ・マンチャの王様の裸（1992）」、スーパー歌舞伎「新・三国志（1999）」、スーパー歌舞伎Ⅱ『ワンピース（2015）』など。

【問合せ先】  
都市ブランド創造局文化企画課  
担当：安倍、荒牧（TEL：093-582-2391）



HOTSKY公演

# ほおずきの家

地元ことばで綴られる

北九州の港町を

行き交う人々の物語

演出  
横内謙介  
(劇団扉座・北九州市文化大使)

作  
釘本光

かつて、製鉄で栄えた海沿いの街。  
今は、工場は跡形も無くなり、海の上に洋上風力発電の風車が立ち並んでいる。  
その海沿いの街で、今は亡き恋人の忘れ形見である一人娘と暮らす風。  
ある日、風が営む食堂に、白石という男が四十年ぶりに訪ねてくる。  
蘇る差別の記憶。別離。あの頃の夢。

知っとう?何でお盆に鬼灯を飾るか。  
鬼灯は、盆提灯の役目をしとるんて。  
亡くなった人の魂が、お盆に、迷わず、ちゃんと縁がある人のところに  
戻れますようにっち。  
けど、海に沈んだ者の魂は、陸の鬼灯りを探しきらんけん、  
代わりに、海鬼灯を鳴らすんて。  
海鬼灯を鳴らすんはさ、私はここで待っとるよおっち、  
海ん中で眠っとる愛しい人を呼びよるんて。

ほおずきの家  
WEBサイト



http://www.housuki.com/

©2017 Housuki Inc. All Rights Reserved.

3/22 (土) 13時から、この演劇作品の  
北九州市の  
ゲネプロに中学生を招待します!

『ほおずきの家』本番上演 3/22 夜、3/23 昼 J:COM 北九州芸術劇場 中劇場

主催：劇団 HOTSKY 共催：北九州市 後援：北九州市教育委員会 協力：北九州芸術劇場

お問い合わせ：team ほおずき team.housuki@gmail.com 080-1711-5074 (谷瀬)



# ほおずきの家

ゲネプロ公開

3月22日(土) 13時 ~ @ J:COM 北九州芸術劇場 中劇場

北九州市との共催で、次世代の若者の表現力育成のため、中学生へ「舞台づくりの現場」を観る機会を提供します。演劇公演『ほおずきの家』のゲネプロ(独語のGeneralprobeの略。本番と同じ条件で行う通しリハーサル)を無料で観て頂ける特別招待企画です。

舞台美術：加藤ちか



撮影：保坂萌

本番には登場しない「演出家」の声も聞けるチャンス!

【演出】横内 謙介 Kensuke Yokouchi 劇作家・演出家・扉座主宰。 <https://tobiraza.co.jp/>

劇団公演のみならず、トニセン【V6】の舞台や、スーパー歌舞伎等、外部に幅広く作品を提供。また、2004年、国民文化祭ふくおかオープングフェスティバル「人生号」構成・演出、愛・地球博「地球タイヘン大講演会」脚本・演出、NHKBS2「深夜劇場へようこそ」司会、2006年フジテレビ系ドラマ「ダンドリ。」脚本等、演劇以外の場でも活躍。

1999年、スーパー歌舞伎『新・三国志』脚本で、大谷竹次郎賞を史上最年少で受賞。

2015年、スーパー歌舞伎II『ワンピース』脚本で、大谷竹次郎賞を再び受賞。

北九州市文化大使(小倉北区の霧丘小学校・霧丘中学校に在籍していました)。

脚本を書いたのは北九州市門司区出身の釘本光。舞台は北九州の架空の町。生身の俳優と、美術、照明、音楽などの技術者の力を結集してつくる「演劇」がつくられていく現場を体験ください。

『ほおずきの家』主演の「みよんふあ」は、あのTBS「ラヴィット!」2024年MWL(もっとも忘れられないラヴィット)で、1位になった「ヨギンダイブ!」の《通訳さん》です!



【ご来場いただく皆様へ】

- ・学生の皆様のみのご招待となりますので、保護者の方の同伴はできません。
- ・お申し込みの上、2025年3月22日(土)12:40~12:55の間に北九州芸術劇場中劇場(リバーウォーク北九州6階)受付にお越しください。
- ・入場開始...12:40 ゲネプロ...13:00~15:00を予定
- ・ゲネプロ終了後、自由退席になりますが、16時までには客席に残って創作現場のやり取りを見学していただけます。

参加希望の方は、3/20(木)の正午までに、こちらのフォームからお申し込み下さい(先着500名。定員になり次第締切ります)→

※お一人様ずつのお申し込みをお願いいたします

主催 / 劇団 HOTSKY 共催 / 北九州市 後援 / 北九州市教育委員会 協力 / 北九州芸術劇場  
お問い合わせ teamほおずき team.houzuki@gmail.com 080-1711-5074 (谷瀬)

